



ごあいさつ

本県では、去る48年8月に55年度を目標年次とする「熊本県基本構想」を策定し、人間尊重・生活優先を基本理念として、県政を運営してきました。

熊本県基本構想に引き続いて56年3月には、これまでの県政の歩みを基礎に、県民が一層豊かで快適な生活を送ることができるようにすることを目的とし、昭和65年を目標年次とする長期計画「80年代熊本県総合計画」を策定しました。

本年は、この計画を実施に移して2年目を迎えています。80年代は、見透しを立てることの極めて困難ないわば不透明の時代であると言われていますが、このような中で県民各界の英知を集めて策定した「総合計画」の目標をより確実に達成するためには、折に触れ、施策推進の状況を一步一步確かめながら

前進しなければならないと思います。

このような考えに立って、これまでの県政推進の成果と「総合計画」で示された施策とそれに伴う事業が具体的にどのように実現されつつあるかを明らかにするため、このレポートをとりまとめました。

県民の皆様の建設的で積極的なご意見やご要望を期待するとともに、これからも真に豊かで住みよい郷土を築いていくため、ご理解とご協力をお願いします。

昭和57年11月

熊本県知事

沢田一精

目次

第1部	伸びゆく熊本県	1
	増加に転じた県人口	2
	県経済のあらまし	7
	県財政のあらまし	15
第2部	あすの熊本をつくるために	20
	心ふれあう快適な地域づくり	21
	豊かな生活を支える産業の振興	27
	健康で明るい社会の建設	36
	あすをひらく人づくり	41
	県・市町村一体となった80年代熊本県総合計画の推進	48

第一部

伸びゆく熊本県

熊本県では、これまで人間尊重・生活優先を基本理念として、この理念の根底にある、人間を中心におき、人びとが住む、働く、学ぶ、憩うといった人間生活のあらゆる側面を大切にするという考え方をいつも念頭におきながら、基盤の整備や生活環境施設の整備などの諸施策を強力におし進めてきました。

この結果、昭和40年代後半以降、きびしい経済環境のもとにありながら、県勢は着実に向上してきています。

昭和30年以来、長い間減少を続けてきた県の人口は、47年をさかいに増加に転じ、現在も順調に増加を続けています。また、産業、経済の面においても、熊本県の主な産業である農業は、全国第5位の生産農業所得をあげるにいたっており、日本の食料供給基地としての地位を確立しています。工業も、世界の最先端をいく企業の立地がみられるなど、順調な伸びを示しています。

このようなことで、県経済は近年、全国の成長率を上回る成長をはたし、一人当たり県民所得も全国水準の87%まで上昇してきました。